

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回の避難訓練はしているものの、明確なマニュアルが完備出来ておらず、まだまだ地域の協力を仰ぐレベルには達していない状況である。	職員全員が緊急時に迅速に対応できるようにする。地域の方々の協力を要請できるレベルにする。	明確なマニュアルを作成する。年間スケジュールをたてて、児童火災報知器・火災通報器の取り扱いや電話の応対・連絡網での訓練をする。	6ヶ月
2	33	今回看取りを行ったが、見取りに積極的ではない。法人の看護師部長や入居者の半数を往診している主治医との協力体制が図れない状態である。	法人の看護師部長にグループでの看取り現状を理解してもらい協力をえる。利用者の状況に対応可能な主治医に換える。	重度化の意向確認書等々を一緒に作成する。看護師長に看取りの研修を受けてもらう。現段階での利用者の状況の話しあいの場を設ける。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。